

申9号
2023年度

賃金引上げ等に関する申し入れ

え！？経営目標に対する責任は 経営陣が取るんじゃないの！？



3月7日に第2回交渉が行われました。交渉の詳細は、JR東労組「業務部速報 No.79～83」をご覧ください。経営状況について議論をした際、会社からは「世の中、社会の動向を踏まえれば
明るい材料が見えるものの、決して楽観視できるものではない」「通期の目標達成はなかなか厳しい状況になる」など、「楽観視できない」という言葉が繰り返し使われました。また、その後の議論で経営目標に対する会社のスタンスが明らかになりました。

組合

・会社が目標を立てるのは必ずあるが、我々からすれば会社が一方的に立てた高い目標である。
・経営が目標を立てて、色々な施策を示して我々が施策を担う。その結果、目標に達していないから賃金が出せないのは納得できない。目標を立てた経営側に責任があるのではないか？

うまくいかなければ社員のせいにするのか！？私たちがどれだけ苦勞して黒字転換を担っているのか経営陣は分かっていない！

昨年夏のコロナの再拡大によって当初の計画を下回っているとのことだが、そもそもコロナの状況を楽観視していたのではないか？だとしたら経営の問題だ！

会社

経営側が計画を立てたとの認識は一致できない。全体の計画である「年次計画」については、経営幹部、我々が社員の声を聞いて、会社の現状の取り組み状況を吸い上げて、最終的に一定の時間をかけて作っている。それをつくったのは経営責任ではなく、それは社員全体として取り組むものである。年次計画を含めた計画の立て方については、誰がどうこうではなく、みんなで立てて達成するものである。

最終的に計画に責任を持つのは経営側ではないのか！？一般企業ではあり得ない言い分だ！



当初の目標に達していないことを理由に賃金を抑制することは納得できない！職場の奮闘に応えるには満額回答が必要だ！